

# 平成30年度まちづくり月間 第13回まち交大賞 国土交通大臣表彰

まち交大賞は、都市再生整備計画に基づくまちづくりにおいて、優良な計画が策定され、また事業の実施、評価、改善において優れた取り組みを行った地区などを対象として表彰し、関係者の榮譽をたたえとともに、受賞地区の事例を全国に幅広く紹介することで、地域の創意工夫を活かしたまちづくりを促進することを目的としています。

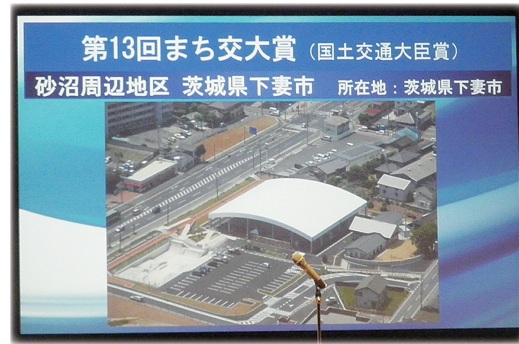
## 【砂沼周辺地区（下妻市）】

### 〈概要〉

まちづくりの積年の課題を解決する、拠点施設（にぎわい広場「Waiwaiドームしもつま」・地域交流センター「わいわいハウス」、観光交流センター「さん歩の駅サン・SUNさぬま」）を整備し、市民協働で行った各種ワークショップで市民参加と担い手育成を目指し、官学連携による施設の設計・施工・管理運営を実施。また、プレイスメイキング（※1）による事業効果促進など、茨城県・下妻市の地元企業、筑波大学芸術系渡研究室、市民グループなど産官学民が連携した多様な主体によるまちづくりの推進と継続性が評価されました。（※1：一人一人が居心地の良い居場所づくり、その手法）



表彰式の様子（右が菊池市長）



## 【下妻市が地方再生のモデル都市に選出】

国土交通省と内閣府が連携し、都市のコンパクト化と地域の稼ぐ力の向上に、ハード・ソフト両面から総合的に取り組む地方再生のモデル都市として、下妻市が全国32都市の1つに選定されました。これは、国の各種支援メニューによりモデル都市の取り組みを集中的に支援し、目に見える形での都市の再生を目指すものです。

市の取り組みの特徴は、既存ストック（整備済の都市施設）を活用し、スポーツをまちづくりの手段として使う「スポーツ環境デザイン」や「プレイスメイキング」により、地域の価値向上を図るものになっております。

### 〈寺虎家 下妻覚醒編〉（都市再生コンパクトシティモデル事業の一環としての取り組み）

- 目的：『スポーツ』の使い方の生産性を高め、地方創生の効果的促進
- 目標：地域価値を高める新たな挑戦的取り組みの創出
- 取組：刺激的な勉強会兼企画会の連続シリーズ

ヨソ者、バカ者、タダ者、キレ者が集まり、地のモノと『地域活性』と『スポーツ』について、様々な専門家や実践者との対話を講義、演習、実習形式で、平成30年9月から行っております。

〈塾長〉  
（株）Waisports  
ジャパン  
松田裕雄 様



お問合せ先 下妻市 建設部 都市整備課 TEL：0296-45-8128